

2024年 第3回

定例会報告

今定例会では、県民クラブを含む3会派からの代表質問と12名の議員が一般質問に登壇しました。その中から、私が特に注目した質問項目を報告します。

農村地域に企業誘致を

大分県では、市町村と連携して企業誘致に積極的に取り組んでいます。昨年度は企業誘致は60件で、一昨年度の41件から大幅増となっています。業種別では、自動車や情報通信、半導体関連が多く、企業誘致に伴い613人の雇用、設備投資額は824億円と県内経済振興に大きく貢献しています。

市町村別に見ると、大分市17件、宇佐市9件、国東市8件など大分市を中心とする地域や県北・国東地区への企業誘致が進む一方で、地域的なバランスも課題です。

代表質問で県民クラブの二ノ宮健治議員【由布市選出】は、「農村地域で企業誘致が進めば、働く場所の確保ができ、企業に勤めながら米作などの農業に従事することが可能となるなど、これからの農村経営に必要な兼業農家の育成や過疎対策といった地域活性化につながるのではないかと質問。

利光・商工観光労働部長は、「市町村間で偏りがあるが、昨年度は16市町で誘致^{注2}できた。現在、大規模投資の受け皿となる産業用地が不足していることから、県全域で調査している。引き続き市町村と連携した上で企業誘致を推進していきたい。」と答弁しました。

後日、担当する商工観光労働部の小野・企業立地推進課長に、進出する企業から立地に関してどのような要望があるのか尋ねると、「まずは人材確保、そして高速インターが近いこと、すぐ使える物件を要望する企業が多いです。」と言われていました。

注2 別府市では、AI技術を活用したシステム開発を行う会社がサテライトオフィスを開設しています



御存知ですか？ 有機フッ素化合物PFAS

みなさん、有機フッ素化合物PFAS（ピーファス）を御存知でしょうか？

ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称してPFASと呼び、1万種類以上の物質があるそうです。

2000年頃まで、フライパンのコーティング、食品包装、衣類の防水加工、半導体や自動車の製造過程にも使われてきました。

水に溶けやすく、煮沸消毒では除去できません。さらに、分解されにくく体内に蓄積され発ガン性や甲状腺異常、コレステロール値の上昇を引き起こす可能性があるとして指摘されており、厚生労働省でもPFASの製造・使用・輸入を禁止して、水質検査で1ℓあたり50ナノグラム（ng）以下という指針値を示して注意喚起しています。

8月、私も参加している自治体議員ネットワークが全国から100名を超える参加者を迎え大分市で政策研究集会を開催しました。分科会で、大塚愛・岡山県議会議員が岡山県吉備中央町で起きたPFAS問題を報告しました。

吉備中央町の水道水から1,400ngを検出。発生源は取水源の河川上流の資材置き場に10数年以上置かれていた使用済み活性炭の可能性が大きいとされ、町は原因究明委員会を設置しました。調査の結果、使用済み活性炭に吸収付着されていた物質が長い間に河川に流れ込んだのではないかと推測され、町は水源を変えるなどの対策を取っているとのことです。

PFASについては、環境省の調査で、大分市の乙津川で142.6ngが検出されたことが地元新聞で報道され、これまで大分県議会においても何度か取り上げられました。

今定例会でも取り上げられ、島田・生活環境部長は、「県内132カ所で水道水の調査をしてきたが検出されなかった。検査結果や最新の科学的知見について、県のHPで周知を図っている。これからも引き続き県民の不安解消に努めていきたい。」と答弁しました。

原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内

私のHPIにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

セキュリティ強化のため、HPのアドレスが変わりました

大分県議会議員 原田たかし

検索

<https://harada-oitakengi.com/>

